

つなみ

えんがんちいき

ひがいがく

すいてい

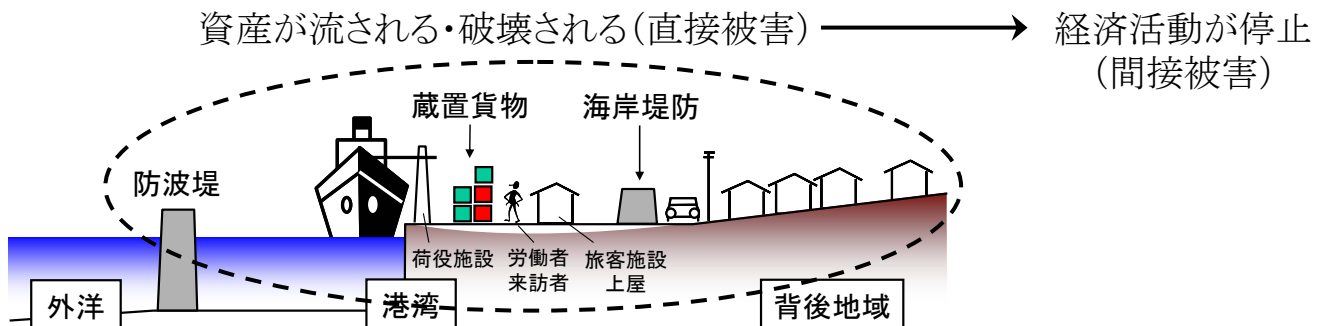


津波による沿岸地域の被害額の推定

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震・津波について、津波による浸水で沿岸地域に生じた被害額を試算することによって、被害の大きさと特徴を調べています。

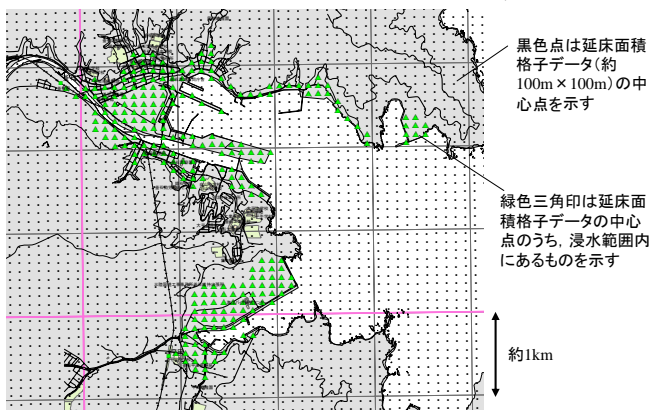
① 津波(つなみ)による被害額(ひがいがく)とは？

港湾などを中心とした沿岸地域には、多くの資産が存在しています。津波による浸水で、そうした資産が流されたり破壊されたりして、浸水による被害が生じます(「直接被害」)。また、復旧するまでの経済活動が停止し、波及的な被害が生じます(「間接被害」)。これらをあわせたものを、津波による沿岸地域の被害額と定義します。



② 被害額(ひがいがく)の推定方法(すいていほうほう)

直接被害のうち、例えば建物の被害額は、公表されている建物の面的分布のデータ(延床面積格子データ)などから浸水した範囲内にある資産価値を推定することができます(左)。また、間接被害のうち、例えばある製造業の経済活動は、操業停止の状況を詳細に調べ地域への波及効果を計算する方法により推定することができます(右)。これにより、地域ごとに被害の大きさと特徴を把握し、復旧・復興活動にむけた支援に活用します。



国内生産首位のある非金属素材を・・・

3/11 津波により操業停止
 5月中旬 電力供給が再開
 6月中旬 操業再開
 7月 出荷開始

ある工場の操業停止の事例

ある地域の事例



国土交通省国土技術政策総合研究所
沿岸海洋研究部 沿岸防災研究室

〒239-0826 神奈川県横須賀市長瀬3-1-1 <http://www.nilim.go.jp>

(平成23年7月)